

各種大会等結果

令和元年度
本荘由利秋季大会

- 【サッカー】
- ②仁賀保中学校
- 【バスケットボール女子】
- ③仁賀保中学校
- 【バレーボール】
- ③象潟中学校
- 【ソフトテニス】
- ▽男子個人
- ①象潟中学校
- (高橋惟月・加藤希央 斗ペア)
- ③仁賀保中学校
- (下居真大・佐藤涼太 ペア)
- ▽男子団体
- ②仁賀保中学校
- 【柔道】
- ▽男子個人50kg級
- ③阿部 海音(仁賀保中)
- ▽男子個人60kg級
- ②鈴木 龍斗(金浦中)
- ③三澤 舜(金浦中)
- ▽男子個人73kg級
- ①白瀬 雄也(仁賀保中)
- ③齊藤 誉(仁賀保中)
- ▽男子団体
- ③金浦中学校

- ▽女子個人44kg級
- ②荒木 春香(象潟中)
- 【剣道】
- ▽男子団体
- ②仁賀保中学校

第39回魁星旗争奪
サッカー大会

- ③二カホWinsIFC

3位以内を掲載、
①...1位(優勝)
②...2位(準優勝)
③...3位

第71回秋田県中学校
英語暗唱・弁論大会

- ▽弁論の部
- 「本当の平和とは」
- ①齋藤 美穂(仁賀保中)

第41回少年の主張
秋田県大会

- 優秀賞
- 「私を隔てたもの」
- 浅井 陽菜(仁賀保中)
- ▽小学校6年生の部
- 「カエルが高いところにいるからそのうち雨が降るぞ!」は本当か? Part 3
- ①佐藤 元紀(金浦小)

第56回にかほ市
少年弁論大会

- 【学校総合】
- ①金浦中学校
- ②象潟中学校
- ③仁賀保中学校
- 【防犯の部】
- 最優秀賞
- 「危険はいつもすぐそばに」
- 畠山 未衣(仁賀保中)
- 優秀賞
- 「明るい未来のために」
- 土屋 萌々子(象潟中)
- 優良賞
- 「この世界と共に生きる」
- 阿部 史奈(金浦中)
- 【防火・防災の部】
- 最優秀賞
- 「かけがえないものを守る覚悟を」
- 齊藤 百香(金浦中)
- 優秀賞
- 「今の私にできること」
- 新田 ゆきの(象潟中)

▲大会終了後の弁士たち

表彰

防犯功労者表彰

- 全国防犯功労者防犯栄誉 銀賞
- 小森 辰雄(黒川区)



秋田県防犯功労者
中田 一松(赤石2区)

その他

「コミュニティ助成金で
購入した消防備品」

一般財団法人自治総合センターの宝くじ助成金(コミュニティ助成事業)で、にかほ市消防団に角形組立水槽、給水パイプ、操法用火点標的、照明器具が整備されました。この事業は、コミュニティ団体への助成を行い、防災活動の発展を図るとともに、宝くじ普及広報活動を行うものです。



みんなにかほのココを伝えたい
地域おこし協力隊 溝上由紀の
街角ニュース vol.14



皆さん、こんにちは。芸術、そして食欲の秋いかがお過ごしですか。私は栗の渋皮煮を食べたり、美術館の展示会や映画鑑賞など、ゆったりと過ごしていました。

先月のことですが、いろいろなご縁があり、当市で映画「YUKIGUNI」が上映され、多くの方に観ていただきました。渡辺監督や出演したカクテル・ジローの秋田治郎さん、東京よりパーティーの谷口さんをお迎えしてのトークイベントと秋田さんのカクテルが飲めるカクテル・イベントも行われ、にかほならではの上映会となりました。皆さんが映画やイベントを楽しんでいる姿を見てとても嬉しい気持ちになりました。ご来場いただいた皆さんありがとうございました。



▲カクテル・イベントの様子

さて、11月2日から11月10日まで象潟公会堂のほか市内の店舗や飲食店などで池田修三木版画展まちびと美術館「ふたあり」が始まります。スタッフは地元をはじめ市外の方もいらっしゃいます。私は地域の宝を掘り起こし、映画上映や展示会を通じてにかほにステキな空間をつくりたいと思っています。ぜひ足を運んで、今年の秋を感じてみてください♪



第16回
にかほのまちびと美術館
絵・板垣奈々

鳥海山の紅葉が深まる頃、遊佐町の月光川水系や、にかほ市の川袋川など山麓の河川ではサケ漁が始まります。サケ漁といっても河川で行われているのは、遡上するサケを捕獲して採卵・ふ化・放流する「ふ化放流事業」が主な目的です。これは、海洋資源の持続性を維持するために明治時代から行われているものです。



鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会 主任研究員
岸本 誠司 氏

鳥海山・飛鳥ジオパークリレーコラム
日本海と大地がつくる水と命の循環

鳥海山の清流はサケを育てられたサケの稚魚は海の水温が温かくなった3月に放流されます。海に出た稚魚はオホーツク海、北大西洋、ペーリング海、アラスカ湾などの北洋で過ごし、およそ4年後に生まれた河川に帰ってきます。約1万キロにもおよぶ長旅です。サケが生まれた川に帰ってくる確率は3%前後ですが、近年は全国的に回帰率が下がっています。その理由のひとつに温暖化による海水面温度の上昇が指摘されています。気象庁によると2016年までの約100年間にわたる日本近海の平均海水面水温は1.09度上昇しています。とくに日本海海域では約1.7度上昇し、これは世界平均の0.53度を大きく上回ります。海水温の上昇はサケをはじめとする魚類の生息域や回遊ルートに大きく影響します。サケの回帰率低下には海洋環境の変化に加え複合的な要因が考えられますが、そのメカニズムはまだ明らかにされていません。